

地域の力で、地域福祉の発展を 町内福祉団体が「初興し」

町内の福祉に関係する団体が集い、親睦と連携を深め合うことを目的に「西原町内福祉団体『初興し(はちうくしー)』」が、1月22日に町中央公民館で開催されました。



イベントには、事務局の町社会福祉協議会や19の福祉団体をはじめ、自治会や行政、町議会などが参加。実行委員長の渡久山勇さんが「地域の問題、課題は地域の力で解決できる、地域相互扶助をみんなで協力して取り組みましょう」とあいさつしました。

南西石油(株)が植樹祭を開催

南西石油(株)(川上オズワルド代表取締役社長)が主催する第4回南西石油植樹祭(後援、西原町ほか)が、1月13日に同社の構内で行われました。

今回の植樹祭では、嘉手苅自治会の子どもたちが採取したフクギの種から育てられた約100本の苗をはじめ、テリハボクなどの木の苗が、参加した350名あまりの手によって植樹されました。



まちの話題

「ことば」を通じて、すてきな人生に!

子育てに関する基本的な知識や技能を学習することを目的に、平成24年度家庭教育学級の合同講演会(町教育委員会、町PTA連合会、各小中学校PTA主催)が、2月5日に町立図書館で開催されました。講演会では「ことばは生きている」と題して、語り人の熊澤南水さんが講話しました。第1部の講演で熊澤さんは、東京に移り住んだときに津軽なまりで中傷され、傷ついた自身の経験を話し、言葉に対するこだわりと夢をあきらめないことの重要性を説きました。第2部では小説を語りかけるように朗読し、約80名の参加者は熊澤さんの作り出す世界に酔いしていました。



熊澤南水さん

石原さんのキャベツが品評会で高評価!

2月2日、3日に開催された「おきなわ花と食のフェスティバル2013(同推進本部主催)」で行われた第23回野菜品評会で、本町在住の石原昌俊さんが出展したキャベツが金賞を受賞しました。



また石原さんは、特別賞として沖縄県農業協同組合中央会会長賞を同時受賞。喜びのダブル受賞となりました。

金賞

「生まれてきてくれて、ありがとう」松野さんが子育てを通じて、優しさを伝える

陸上の長距離やマラソンで活躍し、現在は熊本市議会議員の松野明美さんを講師に招いた講演会「いちばんじゃなくていいんだね。～生まれてきてくれて、ありがとう～」が、1月26日に町中央公民館で開催されました。この講演会は人権擁護啓発活動の一環として、西原町が那覇人権啓発活動地域ネットワーク協議会と共催で開催したものです。

松野さんは競技を引退後、結婚して2人の子どもを出産。しかし2人目の子が重い心臓病を持って生まれ、ダウン症の障がいと診断されました。「一人前の大人に育てられるのが、育て方が分からない、私には無理だと思った。」松野さんは当時をそう振り返りました。

テレビでの明るいイメージが崩れると思い、子どものことは隠し続けたそうです。しかし「徐々に子どもと地域に向かうようになり、地域と一緒に過ごすことで、私も子どもと一緒に成長できた。それが勉強になった。」と語りました。「今は楽しんで子育てしていきたいと思うようになった。人は優しくなるために勉強して、部活するんです。100点を取るためじゃない、勝つためじゃない。」と、会場の参加者にメッセージを送りました。



功績を祝福! 町功労者表彰式典及び祝賀会を開催

本町の各種事業の振興・発展に顕著な功績を残した方を表彰する「平成24年度西原町功労者表彰式典」が、2月8日に町中央公民館で開催されました。表彰式典後には町功労受賞者に加え、叙勲受章者を招いて祝賀会が行われ、出席した約200名の町民や関係者が祝福しました。

今年度の町功労者表彰の受賞者、叙勲受章者は次のとおりです。(敬称略)

【西原町功労表彰受賞者】

「有功者表彰」西原町表彰条例第2条の2第4号

小川 信 西原町字我謝695番地

町文化協会設立と同時に書道、美術工芸部会員として両部会の中心的指導者として発展に尽力しました。また長年にわたり、書き初め展、町内小学校への出前講師として児童生徒の指導にあたるなど、ボランティア活動を続けています。

「功労者表彰」西原町表彰条例第4条第4号

仲宗根 盛次 西原町字翁長514番地の1

町文化協会設立と同時に古典音楽部会員として部会長、副会長などを歴任し、協会の活性化に尽力しました。また西原まつりなどで、町文化協会各支部の統括指導に尽力しました。

「善行者(団体)表彰」西原町表彰条例第5条第1号

西原町の人材育成のために役立てるため、町に対し多額の寄付を行いました。

金秀グループ(会長 呉屋守将)

那覇市旭町112番地の1

新中糖産業株式会社(代表取締役社長 福里 重盛)

西原町字小那覇628番地の1

【叙勲受章者】

「春の叙勲」

新里 幸信 西原町字上原275番地の3 (瑞宝単光章)矯正業務功労

昭和42年、琉球政府矯正研修所を経て矯正職採用。沖縄刑務所、宮古刑務所、那覇拘置支所などで勤務。平成21年3月の定年退職まで42年間、一人でも多くの更生者を社会に送り出すことを目標に矯正業務に尽力しました。

【秋の叙勲】

「第19回危険業務従事者叙勲」

狩俣 幸男 西原町字与那城277番地の6 (瑞宝双光章)警察功労章

昭和37年、琉球警察巡查を拝命。沖縄県警警視、石川警察署長、県警察本部交通部参事官兼交通企画課長、沖縄県警視正を経て、警察功績章を受賞。平成11年に勤奨退職するまでの37年間、公共の安全と秩序の維持にあたるという崇高な使命を果たし治安維持の警察業務に精励しました。

国土交通大臣表彰(航空関係功労者表彰)

吉永 安広 西原町字小那覇249番地

昭和49年、南西航空(現在、日本トランスオーシャン航空)に入社。運航点検整備部運航整備課長、同部副部長兼同部点検整備課長、執行役員同部長、上席執行役員同部長、上席執行役員総合安全推進委員会事務局局長を経て、現在は顧問として安全管理に尽力しています。後輩指導を通じ、仕事の正確さと厳しさを伝えながら、慣れと油断がミスにつながることを戒め、安全運航を確実にすべく航空機整備による無事故への功労として今回の受賞となりました。

文部科学大臣表彰(社会教育功労者表彰)

鎌本 末継 (元西原町青少年健全育成協議会理事)

宜野湾市大謝名2丁目16番1号

昭和62年から平成23年3月まで浦添地区防犯指導員、昭和62年5月から平成24年5月まで西原町青少年健全育成協議会理事、平成8年5月から平成24年5月まで浦添地区少年補導員として尽力しました。長年にわたる青少年の非行防止活動の功績により、本町全体の青少年の健全育成に多大な貢献が高く評価され、社会教育功労者として今回の受賞となりました。

オスプレイ配備撤回を求め、総理直訴・東京集会に上間町長が参加

「NO OSPREY東京集会」が、1月27日に日比谷野外音楽堂(東京都)で開催されました。集会には約4千人が参加し、米軍普天間基地のオスプレイ配備撤回や基地の早期閉鎖・返還などを訴えました。集会後は銀座など都心でパレードを行い、道行く人に沖縄の思いを伝えました。

集会とパレードには多くの県内市町村長や議会議員などが参加する中、西原町からは上間明町長が参加。町民の代表として、反対の声をあげました。

また上間町長は、28日には他の市町村長と連携して首相官邸などを訪問し、県内41市町村長名で記された「建白書」を提出しました。

